

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第11期第1四半期（自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	アルフレッサ ホールディングス株式会社
【英訳名】	Alfresa Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石黒 傳六
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第1四半期連結 累計期間	第11期 第1四半期連結 累計期間	第10期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	587,509	615,925	2,387,511
経常利益(百万円)	9,300	8,327	32,279
四半期(当期)純利益(百万円)	4,239	4,871	20,771
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,749	4,728	33,589
純資産額(百万円)	246,347	286,080	283,956
総資産額(百万円)	1,073,165	1,144,207	1,189,241
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	82.78	88.02	389.91
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	22.5	25.0	23.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、日銀による積極的な金融緩和策に伴う円安や株高を背景として、景気回復への明るい兆しが見え始めたものの、雇用や所得の改善の足取りは鈍く、新興国など海外経済の先行きにも不透明感が続いております。

このようななか当社グループでは、新たに「13-15中期経営計画 変革への挑戦～次なる頂（いただき）を目指して～」を策定し、健康に関するサービスを総合的に提供する「ヘルスケアコンソーシアムの実現」、「安心、安全、誠実の追求」、ならびに「人づくり」を基本方針として、「社会から信頼される企業グループを目指す」、「新たな時代を拓く人材を育成する」、「医療用医薬品卸売事業の次なるステージを目指す」、「事業間連携・企業間連携の推進によりグループシナジーを追求する」、「健康・医療関連事業への進出をはかる」の5つの主要な経営テーマへの取り組みに着手いたしました。

本年4月には、ベトナム国内の医療関連製品卸業界最大手であるCONG TY TNHH MTV DUOC PHAM TRUNG UONG 2(Codupha)との間で、同国において医療機器・医療材料を中心としたヘルスケア関連製品の輸入・販売を行うことを目的とした合弁会社Alfresa Codupha Healthcare Vietnam Co., Ltd.（アルフレッサ コドゥファ ヘルスケア ベトナム 所在地：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 当社出資比率70%）を設立することを決定いたしました。

また、近年わが国では医療をめぐる国民のニーズの多様化等に対応して、希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の試験研究を促進するための特別な支援措置が施行され、メーカー各社は新製品の開発を促進し、今後発売されると予測されます。このような状況に対応するため、本年6月に、アルフレッサ株式会社が希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の流通を行うことを目的としたエス・エム・ディ株式会社（本社：東京都千代田区 出資比率100%）を設立いたしました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は6,159億25百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は56億19百万円（前年同期比17.5%減）、経常利益は83億27百万円（前年同期比10.5%減）、四半期純利益は48億71百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

各セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、消化器疾患治療薬をはじめとする新製品や新薬創出・適応外薬解消等促進加算品目が好調に推移したこと等により、1.5%程度の伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）となりました。

このようななか当社グループは、引き続き厚生労働省の「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会（流改懇）」の流通改善第3ラウンドとして積極的に取り組むとともに、継続してさらなる効率化による販管費率の低減に努めました。また、アルフレッサ株式会社は、最新かつ正確な医薬品等の情報を、お得意様やメーカー各社に安心安全かつスピーディーに提供するために、タブレット型端末を全支店に順次導入して、営業機能の高度化を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,619億45百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は54億21百万円（前年同期比29.5%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高 11百万円（前年同期比58.8%減）を含んでおります。

#### セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、利益改善の推進・強化や物流の効率化、および業務改革の推進などを通じた「事業基盤の確立」に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は500億1百万円（前年同期比0.4%減）、営業損失は2億16百万円（前年同期は営業損失11億13百万円）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1億52百万円（前年同期比33.1%増）を含んでおります。

#### 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、アルフレッサ ファーマ株式会社岡山製薬工場における受託製造が拡大しております。また、新たな迅速診断キット製品の開発や既存製品の改良、および個別化医療にも貢献できる付加価値の高い診断薬製品（コンパニオン診断薬等）の開発を目的として、茨木リサーチセンター（大阪府茨木市）の建て替えを進めてまいりましたが、本年6月に竣工し、稼働いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は64億4百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は3億16百万円（前年同期比193.6%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高22億62百万円（前年同期比7.1%増）を含んでおります。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は2億74百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	135,000,000
計	135,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	58,754,400	58,754,400	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	58,754,400	58,754,400	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	58,754,400	-	18,454	-	58,542

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 3,416,900	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 55,124,700	551,247	-
単元未満株式	普通株式 212,800	-	-
発行済株式総数	58,754,400	-	-
総株主の議決権	-	551,247	-

（注）「完全議決権株式（その他）」および「単元未満株式」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ、700株及び20株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
アルフレッサホールディングス株式会社	東京都千代田区 大手町1-1-3	3,416,900	-	3,416,900	5.82
計	-	3,416,900	-	3,416,900	5.82

（注）当第1四半期連結会計期間末日現在における自己名義所有株式数は3,417,541株、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は5.82%であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	146,093	92,122
受取手形及び売掛金	563,458	585,900
有価証券	67,007	75,989
商品及び製品	134,843	116,999
仕掛品	457	549
原材料及び貯蔵品	1,647	1,814
未収入金	50,740	48,588
その他	16,691	14,667
貸倒引当金	483	507
流動資産合計	980,456	936,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,362	34,393
土地	50,704	50,908
その他(純額)	11,296	11,533
有形固定資産合計	96,362	96,835
無形固定資産		
のれん	4,862	4,577
その他	6,087	6,074
無形固定資産合計	10,950	10,652
投資その他の資産		
投資有価証券	85,258	84,884
その他	20,548	20,257
貸倒引当金	4,335	4,547
投資その他の資産合計	101,472	100,594
固定資産合計	208,785	208,081
資産合計	1,189,241	1,144,207



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 821,663	1 789,449
短期借入金	880	880
未払法人税等	19,276	2,139
賞与引当金	6,818	7,926
その他	15,901	17,383
流動負債合計	864,539	817,779
固定負債		
長期借入金	1,484	1,409
退職給付引当金	17,399	17,403
その他	21,861	21,534
固定負債合計	40,745	40,346
負債合計	905,284	858,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,109	100,109
利益剰余金	139,848	142,118
自己株式	1,178	1,181
株主資本合計	257,233	259,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,004	30,796
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	4,490	4,490
為替換算調整勘定	9	58
その他の包括利益累計額合計	26,523	26,365
少数株主持分	198	214
純資産合計	283,956	286,080
負債純資産合計	1,189,241	1,144,207

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	587,509	615,925
売上原価	546,398	576,562
返品調整引当金戻入額	687	785
返品調整引当金繰入額	784	645
売上総利益	41,015	39,502
販売費及び一般管理費	34,202	33,882
営業利益	6,812	5,619
営業外収益		
受取利息及び配当金	829	937
受取情報料	1,413	1,474
その他	408	475
営業外収益合計	2,651	2,887
営業外費用		
支払利息	35	37
不動産賃貸費用	29	21
持分法による投資損失	62	55
その他	36	64
営業外費用合計	163	179
経常利益	9,300	8,327
特別利益		
固定資産売却益	60	1
投資有価証券売却益	0	105
特別利益合計	60	107
特別損失		
固定資産売却損	196	0
固定資産除却損	33	160
減損損失	480	104
投資有価証券評価損	32	-
特別損失合計	743	264
税金等調整前四半期純利益	8,617	8,169
法人税、住民税及び事業税	5,784	2,072
法人税等調整額	1,584	1,210
法人税等合計	4,199	3,282
少数株主損益調整前四半期純利益	4,418	4,886
少数株主利益	178	15
四半期純利益	4,239	4,871
少数株主利益	178	15
少数株主損益調整前四半期純利益	4,418	4,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	207
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	25	48
その他の包括利益合計	331	158
四半期包括利益	4,749	4,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,573	4,712
少数株主に係る四半期包括利益	176	15

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でありましたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

当第1四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	2,893 百万円	2,515 百万円
支払手形	2,320	2,194

2 保証債務

連結子会社以外の会社の仕入債務および金融機関からの借入、ならびに従業員の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
(有)コーフク商事	444百万円	(有)コーフク商事	434百万円
(株)広島中央薬局	310	(株)広島中央薬局	303
ファーマシーリンク(株)	78	ファーマシーリンク(株)	77
ヒューマンメディカルリサーチ(株)	34	従業員	9
従業員	10	その他	1
その他	1		
計	879	計	826

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	2,082百万円	2,142百万円
のれんの償却額	316	285

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	2,304	45	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	2,600	47	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸売 事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	533,280	50,074	4,154	587,509	-	587,509
セグメント間の内部売上高 または振替高	26	114	2,112	2,254	2,254	-
計	533,307	50,189	6,267	589,764	2,254	587,509
セグメント利益または損失( )	7,690	1,113	107	6,685	127	6,812

(注)1. セグメント利益または損失の調整額127百万円には、セグメント間取引消去1,667百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用 1,539百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸売 事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	561,934	49,848	4,142	615,925	-	615,925
セグメント間の内部売上高 または振替高	11	152	2,262	2,426	2,426	-
計	561,945	50,001	6,404	618,351	2,426	615,925
セグメント利益または損失( )	5,421	216	316	5,521	97	5,619

(注)1. セグメント利益または損失の調整額97百万円には、セグメント間取引消去1,496百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用 1,398百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	82円78銭	88円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	4,239	4,871
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	4,239	4,871
普通株式の期中平均株式数(千株)	51,216	55,337

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

当社は、平成25年3月期の期末配当について、下記のとおり取締役会決議を行っております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	2,600	47	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

アルフレッサ ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 尾関 純 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 北川 健二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 桂木 茂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルフレッサホールディングス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルフレッサホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途、財務諸表に添付される形で保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。